

# 美樂舎

B i G a K u S Y a  
News letter

No. 355

会報 第 355 号 (令和 3 年 5 月発行)

東京都中央区銀座 1-13-4 大和銀座一ビル6F  
K's Gallery 内

Tel:03-5159-0809 Fax:03-5579-9004

Mail:kgallery@eagle.ocn.ne.jp HP:http://bigakusya.com

## 第 379 回 (4 月) 例会

新型コロナウイルスの影響により休会となりました。

### 画廊の窓から 2

## 96 歳吉江麗子先生

吉江麗子先生は新二先生の奥さん。現在 96 歳の現役作家である。毎回のこぎりを使い半立体の作品を制作している。女流画家協会展には最若手で第一回から毎回参加、今年 74 回展では最長老で参加している。現在私の画廊で新二先生の生誕 100 年展を開催しているが、その時の話である。

先週の土曜日 13 日 (1 月) は大雨。麗子先生は雨だから来ないと言っていたが、雨の中画廊に来られた。そして「あー！疲れた、今日ほど年を感じたことはない。花小金井からの西武線で人身事故、電車の中で 1 時間立ち続けた。」

「え、誰も席を譲らなかったの」と聞くと、

「誰も譲ってくれなかった」と。

「今日は雨で来られないと言っていたのに」というと、

「お客さんが来たら申し訳ないから」と。

信じられないお客へのおもてなしの心。

丁度来ていた、スタンドグラス作家が、「その赤いレインコートを着いて、その顔の色つや、キリっとした姿勢だったら、誰だって 60, 70 歳台。96 とは思えないよ」と。

若さの秘訣は、今でも、新橋から京橋迄画廊を巡っていると。すると、スタンド作家は「父は先年 103 歳で亡くなったが、



毎日歩いていて、死ぬまで顔艶が良かった。歩くことは重要だね」と。

麗子先生の新二先生の個展に対するコメントもなんとも瑞々しい。若さ溢れ愛情一杯。

添付します。

澤登丈夫